



【左上段】第52回消防救助技術青森県大会
【左下段】令和6年春の火災予防運動のイベント

【右上段】第46回八戸地域少年消防クラブリーダー研修会
【右下段】第15回防災意見発表会



会報

防災だより

2024
VOL.33

9月30日発行

CONTENTS

1. 消防長就任のご挨拶 消防長 寺牛 憲行	2 P
2. 新役員のご挨拶	3 P
3. 第15回防災意見発表会	4 P
4. 令和6年度 定時総会	5 P
5. 防火管理に関する資格取得講習会開催（後援）	5 P
6. 〔後援団体活動状況〕優良少年消防クラブ・指導者表彰/青森県消防功労表彰 ..	6 P
7. 〔後援団体活動状況〕第46回少年消防クラブリーダー研修会（後援）	7 P
8. 〔後援団体活動状況〕少年消防クラブ合同部会研修会	7 P
9. 令和6年度 事業計画	8 P
10. 新規加入事業所紹介	8 P
11. 消防本部からのお知らせ	8 P

発行所●八戸地域防災協会事務局（消防本部予防課内 八戸市田向五丁目1番1号）

☎ (0178) 44 - 2133 FAX (0178) 44 - 1196

E-mail:bousaikyoukai@hachinohe119.jp ホームページ：http://www.8bousai.com



ご 挨拶

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

消防長 寺 牛 憲 行



会員の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、消防行政に対しまして日頃から御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

私こと、今年4月1日付けをもちまして消防長を拝命いたしました。微力ではございますが、課せられた任務は瞬時の停滞も許されないものと、全力を傾注して参る所存であります。

貴協会におかれましては、多年にわたり避難行動要支援者を対象とした住宅用火災警報器の寄贈・設置事業や、幼年・少年・女性の各消防クラブに助成を行うなど、様々な防災活動を行ってこられました。地域住民から深い信頼を得て、災害に強い安全・安心なまちづくりの構築に大きく寄与されてきたことが認められ、一昨年、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞されたことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、能登半島地震が発生してから、9か月が経過いたしました。被災地で1日も早く日常の生活を取り戻されますこと、そして復興を心よりお祈り申し上げます。

近年の災害は頻発化、激甚化しており、8月8日宮崎県沖日向灘を震源として発生した地震において、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されるなど、巨大地震の発生が危惧されております。また、7月下旬には山形県及び秋田県が大雨被害に見舞われ、8月12日東北地方に上陸した台風5号では、岩手県を中心として記録的な大雨を観測しました。

今後、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等をはじめ、相次いで襲来する台風や集中豪雨などによる被害を最小限にとどめるためには、消防と各防災関係機関が連携し、これまで以上に地域の防災力を高めていく必要があります、貴協会が理念としている「地域の防災思想の普及高揚を図り、災害のない安全な地域づくりの推進」の拡充が不可欠です。

今後とも、災害に強い、安全・安心な地域づくり推進のため、なお一層の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のさらなる御発展と、会員皆様の御活躍と御健勝を祈念申し上げ、就任の挨拶にかえさせていただきます。

3つの災害から得たもの

五戸部会 部長 新井田 壽 弘

(社会福祉法人吉幸会
特別養護老人ホームひだまり)



この度、八戸地域防災協会 五戸部会会長に就任しました新井田壽弘と申します。

五戸まきば温泉の隣にある「特別養護老人ホームひだまり（青森県認証介護サービス事業所）」の施設長を務めており、普段から防災意識を持っています。

さて、よく自然災害が発生すると「天災は忘れた頃にやってくる」といわれますが、近年は地震だけでなく台風や集中豪雨が“忘れる前に”頻繁に発生するようになりました。私は、これまでの3つの災害体験記憶が鮮明に残っていますので、過去の災害を通じ学び得たこと、行政区を越え広域的な防災への取り組みについて感じていることを紹介いたします。

①十勝沖地震 1968.5.16（八戸震度5）当部会エリアの建物の被害が甚大で、崩壊を免れた学校でも照明や壁等校舎内は足の踏み場がないほどの損傷でした。この地震で五戸町では山崩れなどで死者9名、行方不明1名のほか五戸から尻内（現八戸駅）間の南部鉄道の路線が各所で寸断され路線廃止へととなりました。

②三陸はるか沖地震 1994.12.28（八戸震度6）発生は夜で、電気・携帯電話等の通信手段が途切れ情報収集できない状況でした。このような環境で活躍したのはアマチュア無線家達。定期的に訓練していたため、実践で県南、上十三地区の情報収集に寄与しました。私もアマチュア無線の一員（JR7MGW）で、この経験から現在も無線通信設備を確保しています。

③東日本大震災（2011.3.11 八戸震度7）当時、五戸総合病院において、エレベーターが3日間復旧できず全職員総出で入院患者の食事を手渡し確保した記憶があります。

「災害時の準備は日々の暮らしの中にあり」。官民が総合的に連携しないと命を救えないことははっきりしています。五戸部会では、普段から防災意識の高揚を図り、「災害が人災にならない」ため、会員の皆さんと一緒に研修や啓蒙活動等を含めた普及に今後も取り組んでいきます。

※震度は新聞や公共的に紹介されている数値を表示しています。

ご 挨 拶

五戸部会 副部長 向 山 裕



この度、八戸地域防災協会五戸部会五戸部会副会長に選任頂きました、向山裕と申します。現在は、五戸町福祉協議会会長として福祉と介護事業に拘わっています。

また以前は、自治会活動にも会長として携わっており、地元消防団とは様々な形で互いに協力し合いながら、地域づくりに励んで参りました。

その様な活動を通じて、「防災は地域づくりには欠かせぬ重要なものである。」と強く感じている昨今です。

私たちの周囲には、高齢者世帯や高齢一人世帯などの健やかな生活のために、地域のお手伝いを必要とする方々も多くいます。

その様な状況の中で、地震や台風などによる災害の発生に備え、福祉協議会としてあるいは自治会としてまた一住民として、何をどのように対策を立てて実施していくべきかを考慮したとき、まだまだ不十分な思いが致します。

現在、国内では8月8日に日向灘を震源として発生した地震に伴い、南海トラフ地震への備えを関係自治体に呼び掛けており、かつて東日本大震災を経験しました私共も他人事とは思えず、「災害は忘れたころにやってくる。」の例えを参考に備えに怠りの無い様にしようと再認識しております。

今後の活動といたしましては、地域の各団体などの集まりで、防災意識の徹底と発生時の対応のあり方を話し合うことで理解を深め合い、また五戸消防署や地域の消防団、警察など関係各団体との連携を密なものにして参りたいと考えております。

会員皆様方のご指導、ご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

第15回 防災意見発表会



齊藤会長あいさつ



寺牛消防長講評

定時総会に先立ち、八戸パークホテルにおいて「第15回防災意見発表会」が開催されました。会員117名が参加し、会員事業所から3名、消防職員1名の計4名の方が防災に関する発表を行いました。

発表者の貴重な体験や提言に、出席した多くの会員が聞き入り、大変有意義な意見発表会となりました。寺牛消防長から、「防災活動は日々の取り組みの積み重ねで養われていくもの。それぞれの職場、地域に防災意識を広げていただくことをご期待申し上げます。」と講評をいただきました。

「寺院でできる防災への取り組み」



浄土宗 宗教法人
願成寺 木村 けいこ 啓子さん

市川町にある願成寺では、防火や防災・地域貢献のためにいろいろな活動をしています。

そのひとつに、ドクターヘリの離発着の際に近隣の小中学校の校庭を使用する際、土埃が舞うためヘリコプターの到着前に消防車が水をまかななくてはならないことを知り、離発着場としてお寺の駐車場は舗装されているため活用できるのではと申請しました。

その他にも、お盆にはお墓参りに来る檀家さんに協力していただき献血バスでの献血を実施したり、木村さん自身も八戸市消防団市川分団に所属し、消防団活動への参加をしています。

お寺は地域の方々ととても近い距離にあり、防災についても様々な活動ができます。今後、起こるかもしれない災害に備え、願成寺としてまた消防団員としてSNSや年中行事を利用した情報発信や地域の方々との防災を通じた交流をしていきたいと考えています。と発表されました。

「あの日のことをいつまでも忘れない」



浜市川保育園
園長 尾崎 ともこ 知子さん

2011年3月11日、14時46分。観測史上最大のマグニチュード9.0の地震。

当保育園は、卒園式の前日ということで紅白幕の取り付けや準備作業をしていました。そして地震発生。お昼寝中の子ども達の安全を確認し、身支度をさせいつでも避難できる状態にしていました。消防団の方が、「津波が来るから避難して」と飛び込んできたので近くの多賀小学校に避難しました。

五戸川を黒い塊がドーッと逆流して校庭まで流れてくるのが見えました。

あの日から、保育園では月1回、避難訓練を行い、3月11日には地震と大津波警報を想定しての訓練を行っています。東日本大震災を経験し、教訓として「備える」ということ、地域とともに歩む保育園として、信頼の輪をつなぐ存在であると同時に、地域の方々と共に、防災意識を高く持ち続けていきたいと思っています。と発表されました。

「応援職員として派遣された経験について」



八戸市総務部
総務課 赤坂 けんた 健太さん

赤坂さんは、令和6年能登半島地震において、富山県射水市への対口支援に派遣され、1月19日から25日までの間、罹災証明書発行支援（家屋調査）業務に従事されました。

罹災証明書とは、火災を除く自然災害による住家の被害程度等の内容を証明する書類です。証明書を発行するためには、住宅の被害を調査しなければなりません。

調査の際に感じたのは、調査委員に共感を求める被災者が多いことです。

今回の経験から家屋調査業務はできる限り他の自治体職員が参加するべきだと感じました。ある程度冷静に従事できる外部の協力者が同行してもらえれば、調査基準を守った調査結果につながり、被災者への説明に説得力が増すと感じました。と発表されました。

「CHECTPリモート防災訓練」



八戸東消防署
こいずみ たかあき 小泉 貴昭さん

小泉さんは、令和6年4月に開催されました「消防職員意見発表会東北大会」に消防本部代表として出場し、入賞されました。

CHECTP（チェックトピー）とは、災害時要配慮者、通称災害弱者と言われる方で、乳幼児、障害者、高齢者、慢性疾患患者、言葉の通じない外国人旅行者、妊婦、それらの英語の頭文字をとったものです。いつどのような災害が起こるかわからない中で、CHECTPの方々の避難行動、避難後の生活は、大きな課題となっています。

こうした背景を踏まえて、訓練に行きたくても行けない方が、自宅にいながらリアルタイムで防災について学び、体験することが出来る機会をつくり、リモートで防災訓練に参加できるよう、CHECTP防災訓練を広く推進していきたいと考えます。多くのCHECTPの方に参加してもらうことで、助ける側も助けを必要としている人の数や意見を把握でき、想定することで、実際の災害時に近い訓練になります。このリモート防災訓練を通して地域住民の共助の力で、地域の防災力を高めましょう。と発表されました。

令和6年度 定時総会開催

令和6年度 八戸地域防災協会 総会



去る5月16日(木)、八戸パークホテルにおいて、令和6年度八戸地域防災協会総会が開催されました。

総会は会員104名が出席の中、齊藤会長が議長を務め、令和5年度事業結果報告、収支決算報告、更に令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)を事務局が説明し承認・議決されました。

続いて役員退任に伴う改選が行われ、2名の役員が決定しました。

審議終了後には、功労者表彰を行う予定でしたが、諸事情により表彰者欠席のため、お名前が読み上げられました。

＜功労者表彰受賞者＞

植嶋 平治 前副会長(五戸部会 部会長)
新井山 光 前理事

総会後には懇談会が行われ、八戸地域広域市町村圏事務組合管理者 八戸市長 熊谷 雄一様よりご祝辞をいただきました。



防火管理に関する資格取得講習開催(後援)

令和6年度前期の防火管理に関する講習は、甲種防火管理新規講習が4回、甲種防火管理再講習が1回、乙種防火管理講習が1回八戸消防本部で開催されました。



消防法により、一定規模以上の防火対象物は、防火管理の資格を有する者を防火管理者として定めることとなっており、本講習は、その資格を取得するためのもので、計318名の方が講習

を受講されました。

今年度は、各講習の受講定員を増やして開催しており、後期は、甲種防火管理新規講習を2回、甲種防火管理再講習を各1回開催予定です。当協会のホームページから日程の確認や申込みができます。



令和5年度 優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）

令和6年3月27日（水）イイノホール&カンファレンスセンター（東京都千代田区）において、優良な少年消防クラブ指導者として梨ノ木平少年消防クラブ 松田 一男氏が総務大臣表彰を受賞しました。

少年消防クラブは、小学校から高校生までの少年少女が防火及び防災について学習し、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表の実施などの活動を行っています。

令和5年5月1日現在、全国のクラブ数は4,106クラブ、クラブ員は約39万人、指導者は約1万3千人、数多くのクラブの中からの受賞となりました。



令和5年度 青森県消防功労表彰

令和5年度青森県消防功労表彰式が、令和6年3月26日（火）青森市（ホテル青森）において行われました。

青森県消防功労表彰とは、消防活動等において功績顕著な消防吏員及び消防団員に対して行っているもので、女性消防クラブの活動を通じて、防火防災意識の普及啓発活動が青森県消防功労表彰の模範として認められたことから、五戸町女性消防クラブが受賞し、五戸町長への報告と、八戸地域広域市町村圏事務組合八戸消防本部消防長への報告を行いました。



第46回少年消防クラブリーダー研修会（後援）

令和6年7月28日(日)、29日(月)の1泊2日で種差少年自然の家を会場に第46回少年消防クラブリーダー研修会が行われ、クラブ員23名が参加しました。

当協会は、研修会を後援しており、開会式では齊藤会長が参加者への励ましの言葉とともに、記念品として少年消防クラブのシンボルマーク

入りキャップを贈呈しました。

参加者は、少年消防クラブのリーダーとなるべく、防災スポーツ大会や地震、消火、濃煙体験や、キャンドルファイヤーを行う中でクラブ員同士交流し、親睦を図りながらのびのびと活動を楽しんでいました。



少年消防クラブ合同部会研修会

令和6年8月7日(水)、東日本大震災で津波被害を受けた岩手県野田村において中学校・高校部会合同研修会を開催し、45人が参加しました。

午前中、役場職員の解説で野田村の概要や津波被害の映像を見たあと、震災ウォークを行い、午後はフォトハンティングを行いました。

震災復興ウォークでは、役場職員の解説を受けながら村内のポイントを案内していただき、垂直避難、水産業の復興、緊急避難所、堤防機

能などについて学びました。見て、感じ、考える震災学習となりました。フォトハンティングは、班ごとに防災に関するチェックポイントを巡り写真を撮影し、得点を競い合う競技で、親睦を深めるとともに復興の姿を肌で感じることができました。

参加者の防災意識に新たな気づきが生まれ、命の備えを見直すとともに、それぞれの居場所で生かすきっかけになった研修でした。



令和6年度 八戸地域防災協会 事業計画

1 避難行動要支援者支援事業

- (1) 住宅用火災警報器寄贈設置
- (2) 電気・水道、燃焼器具設備等の点検修理

2 防火防災思想普及事業

- (1) 火災予防運動用ポスター作製及び配布
- (2) 各種防火チラシ作製及び配布

3 研 修

- (1) 消防設備等の研修
- (2) 各種施設等の見学
- (3) 講演会の開催

- (4) 消火訓練の実施及び各種訓練への参加

- (5) 救命講習会の実施

- (6) 防災士の養成

4 機関紙の発行

5 消防関係資格取得講習会等の後援及び情報提供

- (1) 防火管理講習会の後援及び実施の周知
- (2) 消防設備士試験、事前講習会等の情報提供

6 幼年・少年・女性消防クラブの育成援助

7 加入促進事業の推進

新規加入事業所紹介 (令和6年9月1日現在)

○八戸部会

・社会福祉法人吉幸会

特別養護老人ホーム ラ・メール白山台

所在地：八戸市北白山台5丁目2番15号

TEL：0178-38-3321

○八戸東部会

・社会福祉法人吉幸会

特別養護老人ホーム ラ・メール小中野

所在地：八戸市小中野5丁目10番1号

TEL：0178-38-3435

○三戸部会

・株式会社 祥和 なんぶ中央薬局

所在地：南部町大字沖田面字千刈52

TEL：0179-34-3570

○三戸部会

・ウトウ株式会社

所在地：三戸町大字同心町字同心町平3の2

TEL：0179-22-2165

○三戸部会

・サカエ薬局 なんぶ

所在地：南部町大字沖田面字千刈35-2

TEL：0179-20-6770

○おいらせ部会

・株式会社タカサキ興行

所在地：おいらせ町上久保61-142

TEL：0178-38-6373

○おいらせ部会

・有限会社松本水道

所在地：おいらせ町苗振谷地40-8

TEL：0178-52-2375

消防本部からのお知らせ

八戸消防本部×八戸地域防災協会

住警器スクラムトライプロジェクトスタート

住宅用火災警報器の設置率向上、維持管理及び交換の推進等のため八戸地域防災協会加盟事業所と連携した住宅防火促進事業を募集しています。皆様の事業所と消防がコラボした商品やイベント等を計画しませんか。詳細は八戸地域防災協会のHPもしくは、9月上旬に郵送したチラシを確認してください。

協力事業者募集 スクラム組もう



八戸地域防災協会のホームページには、行事の様子やお知らせを随時掲載しています。

ホームページアドレス <http://www.8bosai.com>

八戸地域防災協会

検索